

運用報告書（全体版）

アジア・ハイ・イールド債券 ファンド（毎月分配型） 円ヘッジコース

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年1月25日から2021年8月10日まで	
運用方針	①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ②主要投資対象とする投資信託証券の組入れ外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジにより、為替変動リスクを低減する運用を行います。	
主要投資対象	アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）円ヘッジコース	投資信託証券
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	マネープールマザーファンド	わが国の公社債等
主な組入制限	アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）円ヘッジコース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
	マネープールマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

第44期（決算日	2015年9月10日）
第45期（決算日	2015年10月13日）
第46期（決算日	2015年11月10日）
第47期（決算日	2015年12月10日）
第48期（決算日	2016年1月12日）
第49期（決算日	2016年2月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）円ヘッジコース」は、このたび第49期決算を行いましたので、第44期～第49期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



営業第二部 03-5290-3519

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

■最近５作成期の運用実績

作成期	決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 率 投 証 比	資 信 託 入 率 資 券 組 入 率	純 資 産 額
			税 分 配	込 金 騰 落	中 率			
第5作成期	20期（2013年9月10日）	円 9,293		円 100	% △0.8	% 1.0	% 96.5	百万円 14,686
	21期（2013年10月10日）	9,399		100	2.2	1.0	95.9	13,477
	22期（2013年11月11日）	9,391		100	1.0	1.0	96.3	12,458
	23期（2013年12月10日）	9,365		100	0.8	1.0	95.0	11,487
	24期（2014年1月10日）	9,274		100	0.1	1.0	95.0	10,615
	25期（2014年2月10日）	9,155		100	△0.2	1.0	95.4	9,748
第6作成期	26期（2014年3月10日）	9,139		100	0.9	1.0	96.1	8,955
	27期（2014年4月10日）	9,070		100	0.3	1.0	95.8	8,069
	28期（2014年5月12日）	8,963		100	△0.1	1.0	95.0	7,513
	29期（2014年6月10日）	9,018		100	1.7	1.0	95.1	6,971
	30期（2014年7月10日）	9,019		100	1.1	1.0	95.6	6,459
	31期（2014年8月11日）	8,913		100	△0.1	1.0	96.2	5,902
第7作成期	32期（2014年9月10日）	8,905		100	1.0	0.9	90.8	5,884
	33期（2014年10月10日）	8,685		100	△1.3	1.0	96.4	5,382
	34期（2014年11月10日）	8,554		100	△0.4	0.9	94.5	5,126
	35期（2014年12月10日）	8,385		100	△0.8	0.9	95.7	4,677
	36期（2015年1月13日）	8,002		100	△3.4	1.0	95.3	3,967
	37期（2015年2月10日）	8,030		100	1.6	0.9	94.8	4,029
第8作成期	38期（2015年3月10日）	8,024		100	1.2	0.6	95.3	3,936
	39期（2015年4月10日）	8,001		70	0.6	0.9	94.2	3,830
	40期（2015年5月11日）	7,957		70	0.3	0.8	94.2	3,671
	41期（2015年6月10日）	7,900		70	0.2	1.0	95.0	3,449
	42期（2015年7月10日）	7,801		70	△0.4	0.9	96.2	3,266
	43期（2015年8月10日）	7,822		70	1.2	1.0	96.8	3,111
第9作成期	44期（2015年9月10日）	7,677		50	△1.2	0.9	96.5	2,999
	45期（2015年10月13日）	7,727		50	1.3	0.9	95.2	2,746
	46期（2015年11月10日）	7,762		50	1.1	0.8	95.4	2,644
	47期（2015年12月10日）	7,699		50	△0.2	0.8	94.9	2,505
	48期（2016年1月12日）	7,649		50	0.0	0.9	95.3	2,403
	49期（2016年2月10日）	7,576		50	△0.3	0.9	95.3	2,332

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率は日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）の組入比率。

(注5) 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■第44期～第49期の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債券組入比率	投資信託組入比率
第44期	(期 首) 2015年 8月10日	円 7,822	% ー	% 1.0	% 96.8
	8月末	7,723	△1.3	0.9	96.0
	(期 末) 2015年 9月10日	7,727	△1.2	0.9	96.5
第45期	(期 首) 2015年 9月10日	7,677	ー	0.9	96.5
	9月末	7,633	△0.6	0.8	95.0
	(期 末) 2015年10月13日	7,777	1.3	0.9	95.2
第46期	(期 首) 2015年10月13日	7,727	ー	0.9	95.2
	10月末	7,826	1.3	0.8	96.3
	(期 末) 2015年11月10日	7,812	1.1	0.8	95.4
第47期	(期 首) 2015年11月10日	7,762	ー	0.8	95.4
	11月末	7,769	0.1	0.7	96.1
	(期 末) 2015年12月10日	7,749	△0.2	0.8	94.9
第48期	(期 首) 2015年12月10日	7,699	ー	0.8	94.9
	12月末	7,680	△0.2	0.9	95.0
	(期 末) 2016年 1月12日	7,699	0.0	0.9	95.3
第49期	(期 首) 2016年 1月12日	7,649	ー	0.9	95.3
	1月末	7,579	△0.9	0.9	96.6
	(期 末) 2016年 2月10日	7,626	△0.3	0.9	95.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

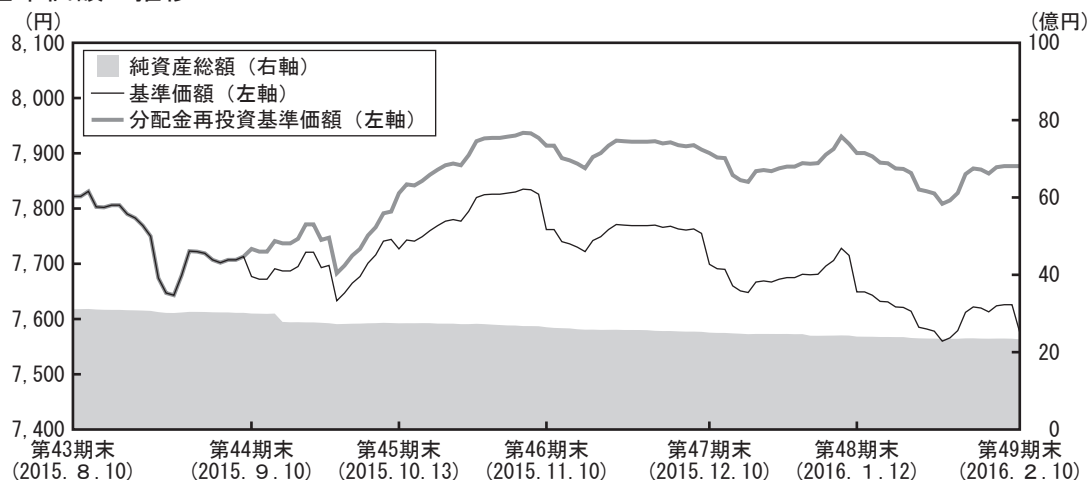
(注2) 債券組入比率はマネーブリールマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率は日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）の組入比率。

(注4) 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

■基準価額の推移



第44期首：7,822円

第49期末：7,576円（期中分配金合計300円）

騰落率：0.7%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2015年8月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）」は、債券投資がプラスに寄与し、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

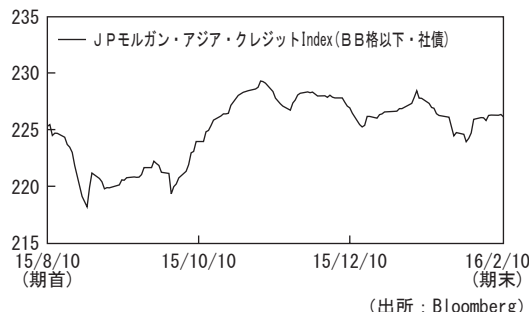
■投資環境

当期のアジア・ハイ・イールド債市場は上昇しました。

中国の経済指標が軟調で景気減速懸念が高まったことや、人民元の対ドルでの基準値が引き下げられたこと等から市場のリスク回避志向が高まり、期初のアジア・ハイ・イールド債市場は軟調に推移しました。

しかし、10月に入ると米国の利上げ観測が後退したことや、欧州中央銀行（ECB）による追加緩和の示唆を受け市場のリスク志向が改善し、アジア・ハイ・イールド債市場も上昇する展開となりました。その後は原油価格をはじめとした資源価格の下落が嫌気され、アジア・ハイ・イールド債市場もやや軟調となりましたが、期を通じてみると同市場は上昇となりました。

市況の推移



■当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）」への投資比率を高位に維持しました。

（日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1））

アジア・ハイ・イールド債券の利回りは、期初／期末を比較すると上昇しましたが、クーポン収入等が貢献し債券部分はプラスに寄与しました。

（マネープールマザーファンド）

安全性、流動性の高い残存期間1年未満の国債・国庫短期証券を中心に運用を行いました。日本銀行の追加金融緩和により、国債金利がマイナスとなった際には、残存期間1年未満の公社債を組入れることで、プラス金利での運用を継続しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、合計300円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期
	2015年8月11日 ～2015年9月10日	2015年9月11日 ～2015年10月13日	2015年10月14日 ～2015年11月10日	2015年11月11日 ～2015年12月10日	2015年12月11日 ～2016年1月12日	2016年1月13日 ～2016年2月10日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
（対基準価額比率）	0.65%	0.64%	0.64%	0.65%	0.65%	0.66%
当期の収益	50	50	50	50	50	50
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,540	1,559	1,576	1,594	1,609	1,626

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

（アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 円ヘッジコース）

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1）」への投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

（日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1））

中国の景気減速や人民元の続落により中国からの資金流出が懸念されている中で、中国のハイ・イールド債市場に対する懸念も強まりつつあります。また、原油価格の大幅下落を受けて、資源関連銘柄の格下げの可能性も高まってきています。このような市場環境の下、ポートフォリオ全体についてはクレジットの質を重視し、保守的に運用していく方針です。また、商品価格低迷の影響を受けやすい資源関連銘柄については、組み入れに慎重な姿勢を継続していきます。

（マネープールマザーファンド）

安全性、流動性の高い残存期間1年未満の公社債・国庫短期証券を中心とした運用を行う方針です。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第44期～第49期		項目の概要
	(2015年8月11日～2016年2月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	38円	0.498%	(a) 信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,712円です。
（投信会社）	(15)	(0.190)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(23)	(0.293)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	38	0.499	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■売買及び取引の状況

○投資信託証券

(2015年8月11日から2016年2月10日まで)

		第 44 期 ～ 第 49 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	NikkoAM Asia Investment Series-	千口	千円	千口	千円
	NikkoAM AsiaHighYieldBondFund I	—	—	1,299.587 (—)	671,000 (—)

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

○親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2015年8月11日から2016年2月10日まで)

		第 44 期 ～ 第 49 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
マネープールマザーファンド		千口	千円	千口	千円
		—	—	6,484	6,500

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

■利害関係人との取引状況（2015年8月11日から2016年2月10日まで）

当ファンド及びマザーファンドにおける第44期～第49期中の利害関係人との取引はございません。

■組入資産の明細

○投資信託証券（邦貨建）

（2016年2月10日現在）

銘 柄	期首(第43期末)	第 49 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund I	千口 5,727.055	千口 4,427.469	千円 2,223,081	% 95.3
合 計	口 数 、 金 額 銘 柄 数 <比 率>	5,727.055 1銘柄<96.8%>	4,427.469 1銘柄<95.3%>	2,223,081 — —

（注1）合計欄の〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

○親投資信託残高

（2016年2月10日現在）

	期 首(第43期末)	第 49 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マ ネ ー プ ー ル マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 32,211	千口 25,727	千円 25,797

（注1）単位未満は切捨て。

（注2）当ファンドは、第49期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはございません。

■投資信託財産の構成

（2016年2月10日現在）

項 目	第 49 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 証 券	千円 2,223,081	% 94.4
マ ネ ー プ ー ル マ ザ ー フ ァ ン ド	25,797	1.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	105,803	4.5
投 資 信 託 財 産 総 額	2,354,682	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年9月10日現在) (2015年10月13日現在) (2015年11月10日現在) (2015年12月10日現在) (2016年1月12日現在) (2016年2月10日現在)

項 目	第 44 期 末	第 45 期 末	第 46 期 末	第 47 期 末	第 48 期 末	第 49 期 末
a 資産	3,041,135,671円	2,776,671,313円	2,688,736,858円	2,542,490,952円	2,432,049,604円	2,354,682,456円
コール・ローン等	114,864,734	133,666,998	136,516,055	138,186,938	117,241,741	105,803,924
投資信託証券(評価額)	2,894,981,669	2,614,712,226	2,523,928,714	2,378,511,925	2,289,020,920	2,223,081,298
マネーブルマザー ファンド(評価額)	31,289,268	28,292,089	28,292,089	25,792,089	25,786,943	25,797,234
b 負債	41,822,255	30,179,695	44,058,222	37,071,925	29,012,549	21,937,140
未払収益分配金	19,535,395	17,771,450	17,036,919	16,272,091	15,707,209	15,396,044
未払解約金	19,706,977	9,893,335	24,951,552	18,698,326	11,098,049	4,674,614
未払信託報酬	2,574,298	2,509,464	2,065,270	2,096,959	2,202,513	1,862,444
その他未払費用	5,585	5,446	4,481	4,549	4,778	4,038
c 純資産総額(a-b)	2,999,313,416	2,746,491,618	2,644,678,636	2,505,419,027	2,403,037,055	2,332,745,316
元本	3,907,079,186	3,554,290,133	3,407,383,872	3,254,418,213	3,141,441,876	3,079,208,874
次期繰越損益金	△ 907,765,770	△ 807,798,515	△ 762,705,236	△ 748,999,186	△ 738,404,821	△ 746,463,558
d 受益権総口数	3,907,079,186口	3,554,290,133口	3,407,383,872口	3,254,418,213口	3,141,441,876口	3,079,208,874口
1口当たり基準価額(c/d)	7.677円	7.727円	7.762円	7.699円	7.649円	7.576円

(注1) 期末における1口当たりの純資産総額

第44期0.7677円、第45期0.7727円、第46期0.7762円、第47期0.7699円、第48期0.7649円、第49期0.7576円

(注2) 期末における元本の欠損金額

第44期907,765,770円、第45期807,798,515円、第46期762,705,236円、第47期748,999,186円、第48期738,404,821円、第49期746,463,558円

■損益の状況

自2015年8月11日 自2015年9月11日 自2015年10月14日 自2015年11月11日 自2015年12月11日 自2016年1月13日
至2015年9月10日 至2015年10月13日 至2015年11月10日 至2015年12月10日 至2016年1月12日 至2016年2月10日

項 目	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期	第 48 期	第 49 期
a 配当等収益	27,986,304円	25,217,266円	24,303,935円	23,724,881円	22,462,911円	22,098,299円
受取配当金	27,985,382	25,216,124	24,303,112	23,724,090	22,462,016	22,097,759
受取利息	922	1,142	823	791	895	540
b 有価証券売買損益	△ 62,891,365	12,282,269	6,170,402	△ 26,233,581	△ 20,215,854	△ 27,665,712
売買益	892,109	12,975,977	7,214,624	205,177	251,803	260,869
売買損	△ 63,783,474	△ 693,708	△ 1,044,222	△ 26,438,758	△ 20,467,657	△ 27,926,581
c 信託報酬等	△ 2,579,883	△ 2,514,910	△ 2,069,751	△ 2,101,508	△ 2,207,291	△ 1,866,482
d 当期損益金(a+b+c)	△ 37,484,944	34,984,625	28,404,586	△ 4,610,208	39,766	△ 7,433,895
e 前期繰越損益金	△ 825,806,163	△ 801,617,541	△ 750,771,065	△ 705,279,287	△ 699,700,441	△ 700,134,550
f 追加信託差損益金	△ 24,939,268	△ 23,394,149	△ 23,301,838	△ 22,837,600	△ 23,036,937	△ 23,499,069
(配当等相当額)	(208,054,865)	(189,585,560)	(182,165,761)	(174,268,189)	(168,687,152)	(165,774,595)
(売買損益相当額)	(△ 232,994,133)	(△ 212,979,709)	(△ 205,467,599)	(△ 197,105,789)	(△ 191,724,089)	(△ 189,273,664)
g 合計(d+e+f)	△ 888,230,375	△ 790,027,065	△ 745,668,317	△ 732,727,095	△ 722,697,612	△ 731,067,514
h 収益分配金	△ 19,535,395	△ 17,771,450	△ 17,036,919	△ 16,272,091	△ 15,707,209	△ 15,396,044
次期繰越損益金(g+h)	△ 907,765,770	△ 807,798,515	△ 762,705,236	△ 748,999,186	△ 738,404,821	△ 746,463,558
追加信託差損益金	△ 24,939,268	△ 23,394,149	△ 23,301,838	△ 22,837,600	△ 23,036,937	△ 23,499,069
(配当等相当額)	(208,054,877)	(189,585,564)	(182,165,775)	(174,268,199)	(168,687,166)	(165,774,609)
(売買損益相当額)	(△ 232,994,145)	(△ 212,979,713)	(△ 205,467,613)	(△ 197,105,799)	(△ 191,724,103)	(△ 189,273,678)
分配準備積立金	393,959,548	364,636,210	355,103,560	344,602,084	337,003,358	334,903,467
繰越損益金	△1,276,786,050	△1,149,040,576	△1,094,506,958	△1,070,763,670	△1,052,371,242	△1,057,867,956

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

注記事項（第44期～第49期）

第44期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	3,977,794,116円
期中追加設定元本額	3,881,807円
期中一部解約元本額	74,596,737円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（25,425,369円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（208,054,877円）及び分配準備積立金（388,069,574円）を対象収益（621,549,820円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から19,535,395円（1万口当たり50円）を分配に充てることに決定しました。

第45期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	3,907,079,186円
期中追加設定元本額	3,375,476円
期中一部解約元本額	356,164,529円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（23,543,999円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（189,585,564円）及び分配準備積立金（358,863,661円）を対象収益（571,993,224円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から17,771,450円（1万口当たり50円）を分配に充てることに決定しました。

第46期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	3,554,290,133円
期中追加設定元本額	4,161,769円
期中一部解約元本額	151,068,030円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（22,674,582円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（182,165,775円）及び分配準備積立金（349,465,897円）を対象収益（554,306,254円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から17,036,919円（1万口当たり50円）を分配に充てることに決定しました。

第47期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	3,407,383,872円
期中追加設定元本額	2,766,697円
期中一部解約元本額	155,732,356円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（21,643,605円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（174,268,199円）及び分配準備積立金（339,230,570円）を対象収益（535,142,374円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から16,272,091円（1万口当たり50円）を分配に充てることに決定しました。

第48期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	3,254,418,213円
期中追加設定元本額	4,517,704円
期中一部解約元本額	117,494,041円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（20,274,593円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（168,687,166円）及び分配準備積立金（332,435,974円）を対象収益（521,397,733円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から15,707,209円（1万口当たり50円）を分配に充てることに決定しました。

第49期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	3,141,441,876円
期中追加設定元本額	4,068,150円
期中一部解約元本額	66,301,152円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末に、経費控除後の配当等収益（20,251,302円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（165,774,609円）及び分配準備積立金（330,048,209円）を対象収益（516,074,120円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から15,396,044円（1万口当たり50円）を分配に充てることに決定しました。

マネープールマザーファンド：参考情報

当ファンド（アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 円ヘッジコース）が投資対象としている「マネープールマザーファンド」の計算期間と、当ファンドの計算期間とは異なります。本情報は、アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 円ヘッジコースの計算期間中におけるマザーファンドの状況を参考として掲載するものです。当該マザーファンドの直近決算の運用状況につきましては、後掲のマザーファンド運用報告書をご参照下さい。

■マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

○公社債

（2015年8月11日から2016年2月10日まで）

第 44 期			第 49 期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
275	10年国債	702,226			
93	5年国債	400,468			
3	東日本旅客鉄道	101,496			
451	関西電力	101,263			
4	フジメディアHD	100,954			
521	東京電力	100,855	—		—
7	オリエンタルランド	100,407			
25	三井不動産	100,361			
300	北陸電力	100,350			
23	GEキャピタル	100,251			

（注1）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産の明細

下記は、マネープールマザーファンド（1,746,118千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

（2016年2月10日現在）

区 分	第 49 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券	1,400,000 (1,400,000)	1,404,235 (1,404,235)	80.2 (80.2)	— (—)	— (—)	— (—)	80.2 (80.2)
合 計	1,400,000 (1,400,000)	1,404,235 (1,404,235)	80.2 (80.2)	— (—)	— (—)	— (—)	80.2 (80.2)

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

（注3）（ ）内は非上場債で内書き。

（注4）当マザーファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

（2016年2月10日現在）

区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
普 通 社 債 券	3 東日本旅客鉄道	3.9500	100,000	100,140	2016/02/25
	62 アコム	1.0700	100,000	100,038	2016/03/04
	25 三井不動産	1.8050	100,000	100,164	2016/03/16
	7 オリエンタルランド	1.8600	100,000	100,204	2016/03/23
	20 ラボバンク・ネダー	0.4870	100,000	100,109	2016/05/24
	280 四国電力	0.5500	100,000	100,139	2016/05/25
	10 J Pモルガンチエース	0.4620	100,000	100,110	2016/06/13
	521 東京電力	1.9700	100,000	100,617	2016/06/27
	23 GEキヤピタル	0.4500	100,000	100,202	2016/09/20
	451 関西電力	1.8500	100,000	101,038	2016/09/20
	300 北陸電力	0.5000	100,000	100,350	2016/11/30
	3 興銀リース	0.2670	100,000	100,140	2016/12/02
	4 フジメディアHD	1.0660	100,000	100,877	2016/12/20
	25 日産フィナンシャル	0.2120	100,000	100,099	2016/12/20
合 計	14銘柄	—	1,400,000	1,404,235	—

（注）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■分配金のお知らせ

	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期
1万口当たり分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	50円	50円

<分配金をお支払いする場合>

- ・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

<分配金を再投資する場合>

- ・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

<課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

■お知らせ

○信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2016年8月10日から2021年8月10日に変更するため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2015年11月10日）。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1） （Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AMアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス1））
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
運用の基本方針	①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として米ドル等を日本円で為替ヘッジを行います。
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。
決算日	毎年12月31日
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査報酬、弁護士報酬等）、管理報酬等がかかります。
申込・解約手数料	ありません。
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド

■包括利益計算書

(2014年1月1日から2014年12月31日まで)
アメリカドル

収益

純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	10,711,677
為替差損	△ 1,885,560
その他収益	561,053
収益合計	9,387,170

費用

投資運用報酬	△ 5,547,941
管理報酬	△ 345,412
監査報酬	△ 36,129
保管報酬	△ 145,089
名義書換費用	△ 25,665
取引費用	△ 3,345
受託者報酬	△ 130,860
その他営業費用	△ 32,829
営業費用合計	△ 6,267,270

税引前・分配前利益	3,119,900
税金	—
税引後・分配前利益	3,119,900
分配金	△268,889,323
税引後・分配後損失	△265,769,423
調整金	—

営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△265,769,423
--------------------------------	---------------------

主要投資対象のひとつである投資信託証券「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表の一部を委託会社にて抜粋・翻訳したものです。

■組入上位銘柄

(2014年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
Road King Infra 9.875 18/09/17	香港	9.875%	2017/9/18	1.64%
China See Proper 11.5 14/11/17	中国	11.500%	2017/11/14	1.63%
Yuzhou Properties Co 8.75% 04/	中国	8.750%	2018/10/4	1.56%
Yuzhou Propertie 11.75 25/10/1	中国	11.750%	2017/10/25	1.54%
Sunac China Hldg 12.5 16/10/17	中国	12.500%	2017/10/16	1.46%
Country Garden 11.125 23/02/18	中国	11.125%	2018/2/23	1.44%
Petron Corp 7.5% Var Perp Regs	フィリピン	7.500%	2049/2/6	1.40%
Shimao Property 11 08/03/18	香港	11.000%	2018/3/8	1.39%
Citic Pacific 8.625% Var Perp	中国	8.625%	2049/5/29	1.39%
Big Will Invst 10.875 29/04/16	中国	10.875%	2016/4/29	1.37%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

マネープールマザーファンド

運用報告書

第4期（決算日 2015年8月10日）

＜計算期間 2014年8月12日～2015年8月10日＞

マネープールマザーファンド第4期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰	落 中 率			
（設 定 日） 2011年9月30日	円 10,000		% —		% —	百万円 11
1期（2012年8月10日）	10,006		0.1		73.6	299
2期（2013年8月12日）	10,013		0.1		98.8	1,123
3期（2014年8月11日）	10,019		0.1		94.6	2,008
4期（2015年8月10日）	10,024		0.0		93.8	2,134

（注1）基準価額は1万円当たり（以下同じ）。

（注2）当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

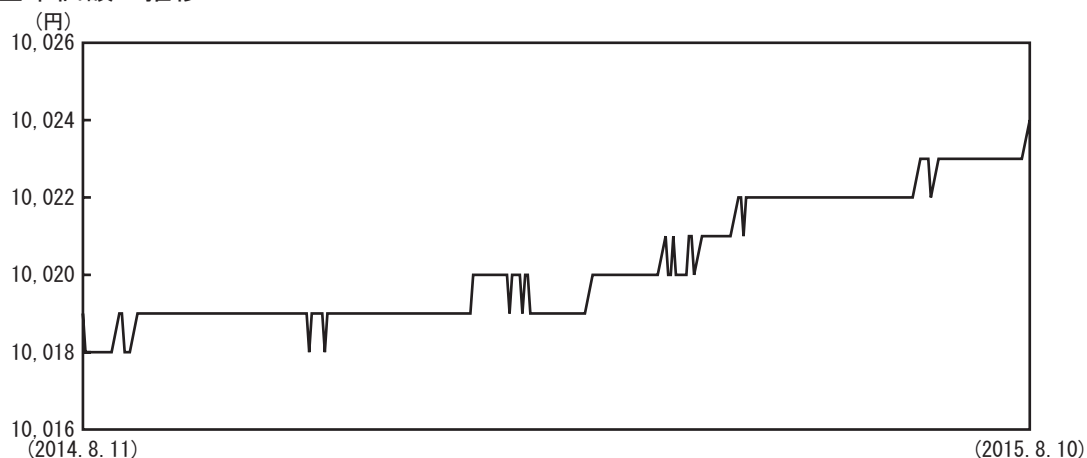
年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率
		騰	落 率	
(期 首) 2014年 8 月11日	円		%	%
	10,019	—		94.6
8 月末	10,018	△0.0		93.7
9 月末	10,019	0.0		91.3
10月末	10,019	0.0		91.8
11月末	10,019	0.0		88.4
12月末	10,019	0.0		63.9
2015年 1 月末	10,019	0.0		90.7
2 月末	10,020	0.0		88.8
3 月末	10,020	0.0		86.7
4 月末	10,022	0.0		81.8
5 月末	10,022	0.0		85.6
6 月末	10,023	0.0		90.8
7 月末	10,023	0.0		93.8
(期 末) 2015年 8 月10日	10,024	0.0		93.8

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

運用経過

■基準価額の推移



期首：10,019円

期末：10,024円

騰落率：0.0%

■基準価額の主な変動要因

短期金利は期中を通じて0%を挟む低位な水準で推移した環境下、公社債等の金利相当分により小幅ながらプラスとなりました。

■投資環境

短期金利は0%を挟んだ極めて低位な水準で推移しました。

超過準備に対する付利0.1%は維持されたものの、日本銀行の量的・質的緩和政策により、資金余剰感から短期金利は、0.1%を下回る水準で推移しました。2014年10月末に追加緩和が実施されると、更なる金利低下圧力から、短期金利はマイナス金利となり、0%を挟んだ極めて低位な水準で推移しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

安全性、流動性の高い残存期間6ヶ月未満の公社債・国庫短期証券を中心に運用を行いました。

日本銀行の金融緩和政策により、国債金利がマイナスとなった際は、残存期間が6ヶ月未満の公社債を組入れることで、プラス金利での運用を継続しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

安全性、流動性の高い残存期間6ヶ月未満の公社債・国庫短期証券を中心とした運用を行う方針です。

■売買及び取引の状況

○公社債

(2014年8月12日から2015年8月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国	国 債 証 券	千円 2,299,952	千円 1,699,995 (1,600,000)
	特 殊 債 券	702,910	300,813 (300,000)
	社 債 券	3,011,680	601,119 (1,400,000)

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

○公社債

(2014年8月12日から2015年8月10日まで)

買 付		売 付	
銘	金 額	銘	金 額
	千円		千円
540 国庫短期証券	899,998	471 国庫短期証券	899,998
496 国庫短期証券	899,991	419 国庫短期証券	599,998
521 国庫短期証券	499,962	149 オリックス	300,957
13 首都高速道路	402,168	13 首都高速道路	300,813
149 オリックス	401,452	16 東日本高速道	300,162
16 東日本高速道	400,424	496 国庫短期証券	199,998
376 東北電力	101,573		
329 九州電力	101,280		
22 全日本空輸	100,755		
39 日本電気	100,700		

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況(2014年8月12日から2015年8月10日まで)

当ファンドにおける当期中の利害関係人との取引はございません。

■組入資産の明細

下記はマネープールマザーファンド（2,129,643千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

(2015年8月10日現在)

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
	千円	千円	%	%	5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	900,000 (900,000)	900,000 (900,000)	42.2 (42.2)	— (—)	— (—)	— (—)	42.2 (42.2)
特 殊 債 券 (除く金融債券)	100,000 (100,000)	100,157 (100,157)	4.7 (4.7)	— (—)	— (—)	— (—)	4.7 (4.7)
普 通 社 債 券	1,000,000 (1,000,000)	1,002,019 (1,002,019)	46.9 (46.9)	— (—)	— (—)	— (—)	46.9 (46.9)
合 計	2,000,000 (2,000,000)	2,002,177 (2,002,177)	93.8 (93.8)	— (—)	— (—)	— (—)	93.8 (93.8)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) () 内は非上場債で内書き。

(注4) 当マザーファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

(2015年8月10日現在)

区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国 債 証 券	540 国庫短期証券	% 0.0000	千円 900,000	千円 900,000	2015/09/24
種 別 小 計	1 銘柄	—	900,000	900,000	—
特 殊 債 券 (除く金融債券)	3 水資源	1.6700	100,000	100,157	2015/09/18
種 別 小 計	1 銘柄	—	100,000	100,157	—
普 通 社 債 券	22 全日本空輸	1.9700	100,000	100,074	2015/08/24
	39 日本電気	1.6800	100,000	100,098	2015/09/04
	35 野村ホールディング	0.8100	100,000	100,065	2015/09/18
	41 東日本旅客鉄道	1.5600	100,000	100,148	2015/09/18
	4 ジャックス	1.8200	100,000	100,216	2015/09/28
	79 丸紅	0.5700	100,000	100,076	2015/10/16
	2 ジャフコ	1.0300	100,000	100,095	2015/10/16
	38 クレディセゾン	0.9000	100,000	100,154	2015/10/29
	376 東北電力	3.7000	100,000	101,021	2015/11/25
	1 興銀リース	0.3400	100,000	100,068	2015/12/14
種 別 小 計	10銘柄	—	1,000,000	1,002,019	—
合 計	12銘柄	—	2,000,000	2,002,177	—

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2015年8月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	2,002,177	93.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	132,493	6.2
投 資 信 託 財 産 総 額	2,134,671	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年8月10日現在)

項 目	当 期 末
a 資産	2,134,671,085円
コール・ローン等	126,917,088
公社債(評価額)	2,002,177,100
未収利息	3,651,147
前払費用	1,925,750
b 負債	—
c 純資産総額(a－b)	2,134,671,085
元本	2,129,643,308
次期繰越損益金	5,027,777
d 受益権総口数	2,129,643,308口
1万口当たり基準価額(c／d)	10,024円

(注1) 信託財産に係る期首元本額2,004,278,122円、期中追加設定元本額681,555,569円、期中一部解約元本額556,190,383円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース	771,135,203円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース	136,311,472円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドブラジルレアルコース	132,038,426円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド日本円コース	11,221,744円
アジアハイイールド債券ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなしコース	15,021,425円
アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型)円ヘッジコース	32,211,960円
好利回りグローバルC Bファンド(限定追加型)2012-08	6,060,545円
グローバル好利回りC Bファンド2012-09(円ヘッジ)(限定追加型)	16,974,638円
日米4資産スマートバランス	999,356,064円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース	5,649,414円
日米4資産スマートバランス(D C 年金)	2,364,980円
アジア・ハイ・イールド債券(毎月分配型)通貨セレクト・プレミアムコース	1,297,437円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.0024円

■お知らせ

○投資信託及び投資法人に関する法律および関連法令の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を致しました(2014年12月1日)。

■損益の状況

(2014年8月12日から2015年8月10日まで)

項 目	当 期
a 配当等収益	11,323,343円
受取利息	11,323,343
b 有価証券売買損益	△10,257,900
売買益	286,900
売買損	△10,544,800
c 当期損益金(a＋b)	1,065,443
d 前期繰越損益金	3,758,020
e 解約差損益金	△1,119,617
f 追加信託差損益金	1,323,931
g 合計(c＋d＋e＋f)	5,027,777
次期繰越損益金(g)	5,027,777

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。